

2020 年度 育星舎 V キャンパス

夏 期 講 習

【V キャンパスからのお願い】

V キャンパスでは下記の日程で夏期講習を実施します。

講座を受講しない生徒のみなさんについても、通常の指導は行います。振替が必要な場合はその希望日を含め、通塾予定を申込書に記入して提出してください。円滑な運営にご協力をよろしくお願いいたします。また提出が遅れた場合も、なるべくお早目にご連絡くださいますようよろしくお願いいたします。

【2020 年度 V キャンパス夏期講習実施要項】

実施期間: 7月20日(月)~8月29日(土)(休講日を除く)

開講時間: 講習期間の月曜日から土曜日の午後2時~10時00分
(指導の開始は、原則、先に来た生徒から順に行うこととさせていただきます。)

申込締切: 7月13日(月)までにお申し込みください。

(非会員の方も受講は可能です。ただし、収容人数に限りがありお断りすることもあります。一度お問い合わせください。)

お問い合わせ先: 075-463-4080

「今学期はがんばったのに成績が伸びなかった」「予備校の授業を聞けば解けるようになるはずだ」「次のテストからはがんばろう」

それは、甘さと勘違い。自立するなら今、V キャンパスで。

V キャンパスの夏期講習は、以下の4コースに分かれています。

- ① オーダーメイド個人指導コース (全学年対応)
- ② 中学英語教科書復習コース (中学レベル)
- ③ 基礎学カトレーニングコース (中学~高校レベル)
- ④ 大学入試ステップアップコース (高校2、3年レベル)

詳しくは、「開講予定講座」をご覧ください。どの講座も生徒の弱点および達成目標に合わせて作成された、効果的で無理のない特別な講座です。日常学習を充実させ、入試に向けた実践的な力を養うことができます。

在籍生の皆様につきましては、後日、専任講師が各ご家庭にお電話し、長期休暇中の学習方針についてご相談させていただく予定です。その際には、お悩みのことなどをご遠慮なくお聞かせください。

夏休みには、苦手つぶしと強固な基礎固めが必要だ

V キャンパスの夏期講習は大手予備校のそれに比べると一見確かに地味です。しかし、ほとんどの生徒にとってこの夏に必要な学習は、間違いなく、地味で地道な苦手克服と基礎固めなのです。〇〇大学対策などの講座を聞いて賢くなった気分を味わったところで、決して実力はつきません。基本をおろそかにしたまま、焦って、応用問題に挑戦したがる生徒が多いことは残念なことです。

- 1) 学校の教材を使い授業で習ったことをしっかり身につける
- 2) 既習の範囲で取りこぼしがあれば、さかのぼって習得する

V キャンパスでは日頃の指導はもちろん、夏期講習でもこれらを重視します。基本を真に徹底することは、そのまま大学入試の勉強につながるのです。

いま、実際に実行した学習が1年後のあなたを変える

受験生であれば夏休みの時間が大切なことはわざわざ言われなくてもわかることでしょう。では、この時期に基礎を固めて苦手をつぶすことの重要性は、受験生だけに向けた話だとお考えになるのでしょうか？もちろん違います。

次のような実例があります。

夏期講習期間に、4～5人の中学2年生に、中学1年生からの英語のやり直しをしてもらいました。中には英語が苦手な平均点に遠く及ばない生徒もいました。約15か月分の復習ですから、生徒も講師も骨が折れました。生徒によっては、あるいは単元によっては、be動詞と一般動詞の違いなど本当にいちから説明し、やり直すようなこともありました。しかし、夏休み明けの試験では、**平均点まで遠かった生徒が平均点を上回りました。その後も上下の変動はありますが、平均点に近い得点を取り続けることができる力を身に着けたのです。**

V キャンパスは、各生徒の能力に合わせた作戦を立て、柔軟な指導および対応をすることができます。もちろん、夏期講習の指導を通常の指導につなげ、長期休暇の後まで実力を育て続けることも可能です。

夏休みをどう活かしますか？目標に合わせて時間を使いませんか？半年後あるいは1年後、生徒の（あなたの）苦手得意を変えてみたいとは思いませんか？それにはこの夏、苦手つぶしを始めることが必要ではありませんか？

今やるべき課題を具体的に、丁寧に、地道に取り組みましょう。無理なく苦手を超えて、さらなる成長の第一歩を踏み出すことは可能です。そして、できれば、Vキャンパスの夏期講習と講座にそのお手伝いをさせてください。

まずは「開講予定講座」を見て、自分に必要なコース・講座を決めましょう。「記入の流れ」を参考に申込書を記入して、講師に直接またはFAXにて提出してください。ご不明のことがあればいつでもご相談ください。お待ちしております。

お問い合わせ先：[075-463-4080](tel:075-463-4080) または hayashibe@ikuseisha.co.jp

「開講予定講座」

各講座とも個人指導(講師1名対生徒1名)で実施します

① オーダーメイド個人指導コース

こんなあなたにおすすめ

- ・自宅で、自力で、休み中の勉強時間を確保できるか不安である
- ・休暇中の学習のスケジュールをどう決めたらいいかわからない
- ・普段の学習を充実させるために、個人指導を増やしたい
- ・個人指導を集中的に受けることで、苦手分野の穴埋めをしたい

期間限定特別価格(1時間当たり4,277円(税込))の個人指導です。

通常の個人指導に通塾日を追加して、個人指導を受けることができます。

一人一人の生徒の要望に合わせて指導の方針や内容を決めることができます。

他のコース・講座で対応が難しい場合にもカリキュラムを作って学習をフォローします。

例えば・・・

- ・生徒のレベルに合わせて文構造を解析する演習をおこない、特に文型と修飾関係を見抜く力をつけます。
- ・講師が学校の課題のペースメーカーになって、無理なく課題の消化と復習を進めます。
- ・学校の課題の範囲よりもずっと前の単元から復習することで、とりこぼしてきたことがないか確認をし、苦手をつぶします。(すべてのご要望にお応えできるわけではありませんので、一度ご相談ください。)

(※個人指導を通常受講している生徒については、夏期講習期間に受けた個人指導の追加分のみにこの金額を適用させていただきます。)

② 「中学英語教科書復習コース」

こんなあなたにおすすめ

- ・英語に苦手意識がある
- ・英語を勉強する際に、声に出して読んでいない、または読むのが少ない
- ・学校の英語の授業が難しいと感じている

教科書に書かれた文章の読み書きができるように、徹底的に復習します。

新しい教材に手を出すことなく、英語を使えるレベルまで効率的に押し上げることができます。

中学校で使用している英語の教科書には、高校入試問題や模擬試験ほど難しい英文は載っていないかもしれません。

しかし、例えば、中学3年生以上のあなたは

英語で「これはお米から作られた食べ物です」と書けますか？

不安ならば受講をお勧めします。

開講予定講座 (下記以外の教科書についてはご相談ください。)

New Treasure 復習講座 (全6回：1日1時間の個人指導)

New Horizon 復習講座 (全6回：1日1時間の個人指導)

New Crown 復習講座 (全6回：1日1時間の個人指導)

③「基礎学カトレーニングコース」

こんなあなたにおすすめ

- ・計算に苦手意識がある、または実際に計算ミスが多い
- ・英単語を、今必要なレベルで確実に身につけたい
- ・学校の授業についていきたい

「数学で計算間違いが多い」、「高校の英語の授業が分からない」
これらのケースの原因を突き詰めると、その生徒が高校生であっても
中学校で学ぶ内容が未定着である、という場合がほとんどです。

例1「因数分解ができない→文字式の計算でプラスとマイナスを間違える」

例2「英語の長文が分からない場合→中学で習う単語を覚えていない」

積み重ねが必要な科目では、中1レベルからやり直さなければならない
そんなケースも決して珍しい事例ではありません。

特に中高一貫校に通っている高校生は、高校受験を経験していないためか、
中学レベルの基礎学力が身につけていないことがよくあります。

計算力や単語力・文法力に不安があるのは確かだけれども、
どこまで戻ってやり直せばよいのか分からない、とお悩みではありませんか？
復習のカリキュラムを担当講師と相談すれば、無理のない計画を立てることができます。

計算問題特訓講座は6時間かけて計算問題のみに取り組む講座です。
間違いやすいところへの意識が養われ、また受講後の計算を楽に感じることができます。
英語については、中学生の各学年で押さえておきたい単語を身につける講座と
中学英語の文法全体を復習する講座を用意しました。
基本事項を押さえた効率的な指導を行い、学校の授業内容をよく理解できるようにします。

学校のカリキュラムが進まない長期休暇にこそ、
計算力・単語力・文法力をVキャンパスで確認しましょう。
そして、自分に適した基礎トレーニングを徹底的に行って、
学校の授業に速やかに追いつきましょう。

開講予定講座

- | | |
|-------------|------------------|
| 計算問題特訓講座 | (1日6時間の演習) |
| 中1基本英単語特訓講座 | (全6回：1日1時間の個人指導) |
| 中2基本英単語特訓講座 | (全6回：1日1時間の個人指導) |
| 中3基本英単語特訓講座 | (全6回：1日1時間の個人指導) |
| 中学英文法復習講座 | (全6回：1日1時間の個人指導) |

④「大学入試ステップアップコース」

こんなあなたにおすすめ

- ・入試に対応できる基礎力を養いたい
- ・入試に必要なレベルで英単語を習得したい
- ・高校レベルの英文法をマスターしたい
- ・英語の読解力がない、と思っている

大学入試レベルの学習は、日常学習の延長線上にあるのは言うまでもありません。しかし、日常学習の定着率を測る定期テストでは一応成績が良いものの、模擬試験となると順位が下がってしまう、とあなたは悩んでいるのかもしれない。

これまで学習したことは当然忘れてしまっはいけません、今まで学習してきたことを覚えているだけでなく、活用できるように整理することも必要です。

Vキャンパスでは、難問を解いて高い負荷を掛けるのではなく、むしろ少ない負荷で着実に入試に必要な知識を整理する効率的な方式を採用しています。

開講予定講座

入試1700語レベル英単語集中講座 (全6回：1日1時間の個人指導)

入試3000語レベル英単語集中講座 (全6回：1日1時間の個人指導)

入試4500語レベル英単語集中講座 (全6回：1日1時間の個人指導)

Vキャンパスでは、英単語を1700語レベルから3000語レベル、そして4500語レベルまで段階的に覚えていきます。4500語レベルまでマスターすると、近年のセンター試験では知らない単語は本当にほぼゼロになり、二次試験・私立大受験にも対応できます。

入試英文法を理解するための集中講座 (全6回：1日1時間の個人指導)

入試英文法で得点するための演習講座 (全6回：1日1時間の個人指導)

英文法については、文法の理解を中心とする講座と、問題演習を中心とする講座の2種類を用意しました。

Vキャンパスでは、情性で答えを覚えているようでは正解できないような問題に取り組みます。

こちらの講座は、センター試験・共通テストの模試で伸び悩んでいる人から、私立大学のみ受験を考えている人まで対応しています。

入試化学反応式の徹底暗記講座 (全6回：1日1時間の個人指導)

化学は、物理や数学よりも、学習量に比例して成績が上昇する科目です。

とは言っても、化学では暗記がどうしても必要です。

そして理解した内容の定着には、集中して反復学習する時間が必要です。

これまで学習したことの復習も兼ねて、化学反応式を覚えてしまいましょう。

「2020年度Vキャンパス夏期講習申込書」の記入について

申込書記入から提出までの流れ：
以下の手順を参考にご記入をお願いします。

- 「申し込み手順1」 申込用紙にはA面とB面があります。
通常の指導の希望日（夏期講習と関係のない指導の予定日）について、振替の希望を反映させて、「通常指導」の日程欄に○を記入してください。
夏期講習期間は通常の個人指導の振替が増えます。指導予定の生徒数を事前に把握する必要がありますので、夏期講習を受講しないVキャンパス在籍生も、7月13日（月）までに通塾の予定を記入のうえ申込書を提出してください。
- 「申し込み手順2」 受講を希望する講座について、受講を希望する日付の欄に○を記入してください。
通常の個人指導を夏期講習の講座として振り替えたい場合は、その旨が分かるように矢印を使って示してください。
大学入試ステップアップ講座の申込欄はB面にあります。それ以外の申込欄はA面にあります。
- 「申し込み手順3」 各講座の受講料（小計）を計算してください。
- 「申し込み手順4」 受講料の合計を計算してください。
合計金額は、A面とB面の各小計を全て合計してください。
※A面・B面のどちらか片面のみに記入された場合は、下方の□に☑を入れ、合計金額はすでに記入された方の面の記入欄に計算してください。
※A面・B面の両面に記入された場合は、A面とB面の小計を合算しA面の合計金額の記入欄にまとめて計算してください。
- 「申し込み手順5」 学校・学年・生徒氏名について記入してください。
※非会員の方は連絡先等の確認が必要です。まずはお問い合わせください。
- 「申し込み手順6」 上記5項目の記入が済んでいるか確認して提出してください。
※提出はFAXまたは講師へ直接の提出で受け付けています。
※FAX 番号： 075-463-4457

夏期講習についてご不明な点、ご相談がある場合はご遠慮なくお問い合わせください。

Vキャンパス（私塾教育 育星舎グループ）
〒603-8332 京都市北区大將軍川端町 97 創造館 2 階
お問い合わせ先：075-463-4080

Vキャンパス website：<https://vcampus.jp>

※指導は第3教場（大將軍東鷹司町 213）で実施します。